

●スポーツ施設

1. 施設概要

本市では、市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与するため、様々なスポーツ施設を設置しています。

施設内では、登録団体又は個人に施設（スペース）を提供する他に、ダンス教室やプール教室等のスポーツ教室やスポーツ指導者等を対象とした講座・講習会等の主催事業を企画・開催しています。

(1) 施設一覧

市内には体育館や武道場、プールを整備した総合体育館や栗山公園健康運動センターといった屋内スポーツ施設、野球やサッカーができるグラウンドがある上水公園運動施設、テニスコート場があります。

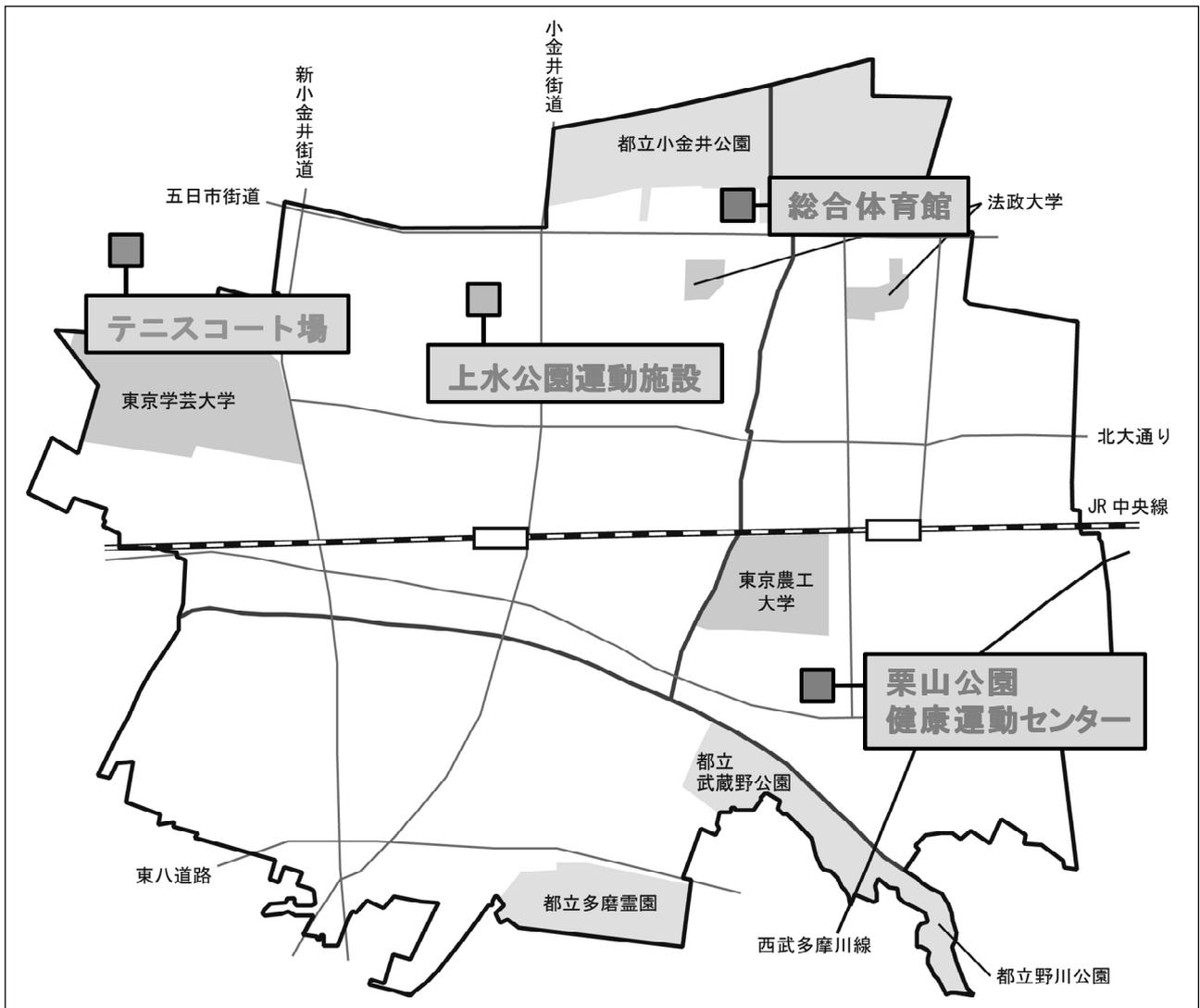
表 施設一覧

| 名称 | 住所 | 敷地面積 (㎡) | 延床面積 (㎡) | 建築年度 (年度) | 利用種目 | | | | | 備考 |
|--------------------|-----------------------|-------------|-------------|--------------|------------|-----------------|-----|------------------------|-----|----|
| | | | | | 体育館 体育室 | 武道場 剣道場 等 | プール | グラウンド (野球 (サッカー) | テニス | |
| 1 総合体育館 | 関野町1-13-1 都立小金井公園内 | 10,000.00 | 7,341.37 | 昭和63 | ● | ● | ● | — | — | |
| 2 栗山公園 健康運動センター | 中町2-21-1 栗山公園内 | 15,882.35 | 2,636.03 | 平成4 | ● | — | ● | — | — | |
| 3 上水公園運動施設 | 桜町2-2-31 | 16,663.99 | 350.24 | 平成17 | — | — | — | ● | ● | |
| 4 テニスコート場 | 小平市上水南町3-12-32 | 11,289.39 | 256.48 | 平成3 | — | — | — | — | ● | |
| 合 計 | | 53,835.73 | 10,584.12 | — | — | — | — | — | — | |

(2) 運営時間、休館日、運営日数

| 名称 | 運営時間 | 休館日 | 運営日数 |
|--------------------|---|--------------|------|
| 1 総合体育館 | 午前9時～午後11時 ※平成24年3月時点では午後9時までとなっています。 | 毎月第1月曜日、年末年始 | 349日 |
| 2 栗山公園 健康運動センター | 午前9時～午後11時 ※平成24年3月時点では午後9時までとなっています。 | 毎月第2月曜日、年末年始 | 349日 |
| 3 上水公園運動施設 | 【4月～9月】午前7時～午後7時 【10月～11月】午前7時～午後5時 【12月～3月】午前9時～午後5時 | 毎月第1月曜日、年末年始 | 349日 |
| 4 テニスコート場 | 【4月～9月】午前9時～午後7時 【10月～3月】午前9時～午後5時 | 毎月第1月曜日、年末年始 | 349日 |

(3) 施設配置



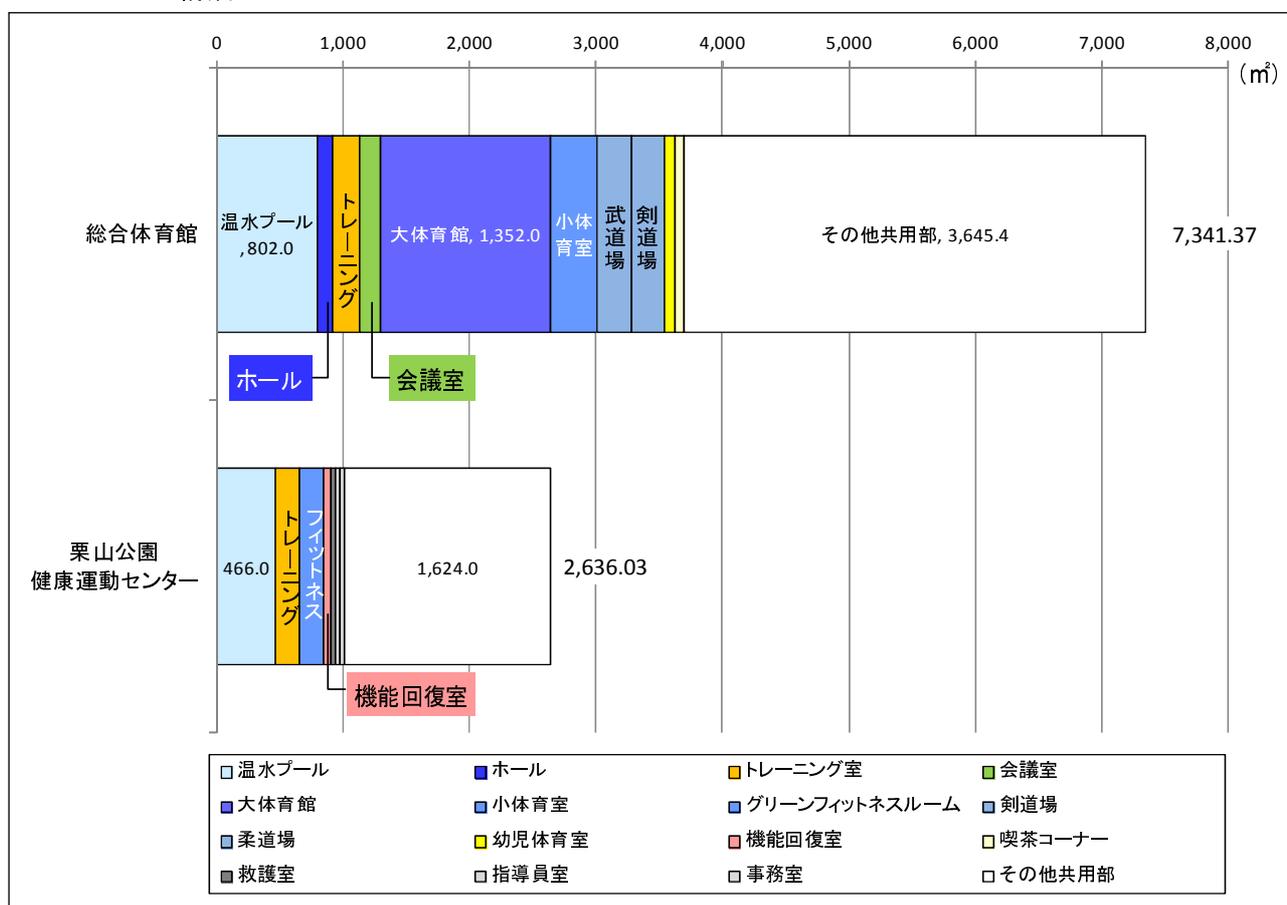
(4) スペース構成

スポーツ施設のうち、体育館や武道場、プールを整備した屋内スポーツ施設の総合体育館と栗山公園健康運動センターの施設内のスペース構成を把握します。

総合体育館の延床面積は 7,341.37 m²です。スペース構成をみると、大体育館、小体育館、温水プール、武道場、剣道場及びトレーニング室を中心とした施設です。その他に講習会や講演会等を行える会議室やホールがあります。

栗山公園健康運動センターの延床面積は 2,636.0 m²です。スペース構成をみると、温水プール、フィットネスルーム及びトレーニング室を中心とした施設です。その他に機能回復室等があります。

図 スペース構成



2. 実態把握

(1) 建物状況

スポーツ施設のうち、屋内スポーツ施設2施設を評価しています。

屋内スポーツ施設2施設のうち、総合体育館は築22年を経過しており、今までにプールの天井や設備の更新など、経年劣化に伴う修繕を実施してきました。平成23年度から5か年計画で大規模改修を実施しています。今後、自然エネルギーの導入や効率の良い設備の導入等の環境対応を検討する必要があります。

栗山公園健康運動センターは、比較的新しい施設ですが、今後経年劣化に伴う修繕を行う際は、バリアフリー対応や環境対応を検討する必要があります。

図 建物総合評価結果

| | <p>パターン③ 今後 老朽化</p> <p>・老朽化が進行している。 ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p> <p>①耐震安全性 3 ②老朽化状況 2 ③バリアフリー対応状況 2 ④環境対応状況 2 ⑤維持管理 2</p> <p>優先3 振分基準; パターン1以外で ②=2の施設</p> <p>該当施設 総合体育館 建築年 昭和63</p> <p>< 1 施設 ></p> | <p>パターン④ バリアフリー・環境対応</p> <p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリー又は環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p> <p>①耐震安全性 3 ②老朽化状況 2 ③バリアフリー対応状況 1 ④環境対応状況 1 ⑤維持管理 2</p> <p>優先4 振分基準; パターン1~3以外で③又は④ が1~2の施設</p> <p>該当施設 栗山公園健康運動センター 建築年 平成4</p> <p>< 1 施設 ></p> |
|-------------|--|--|
| <p>評価</p> | | |
| <p>該当施設</p> | | |
| <p>コメント</p> | <p>・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p> | <p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリー又は環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望めます。</p> |

(2) 利用状況

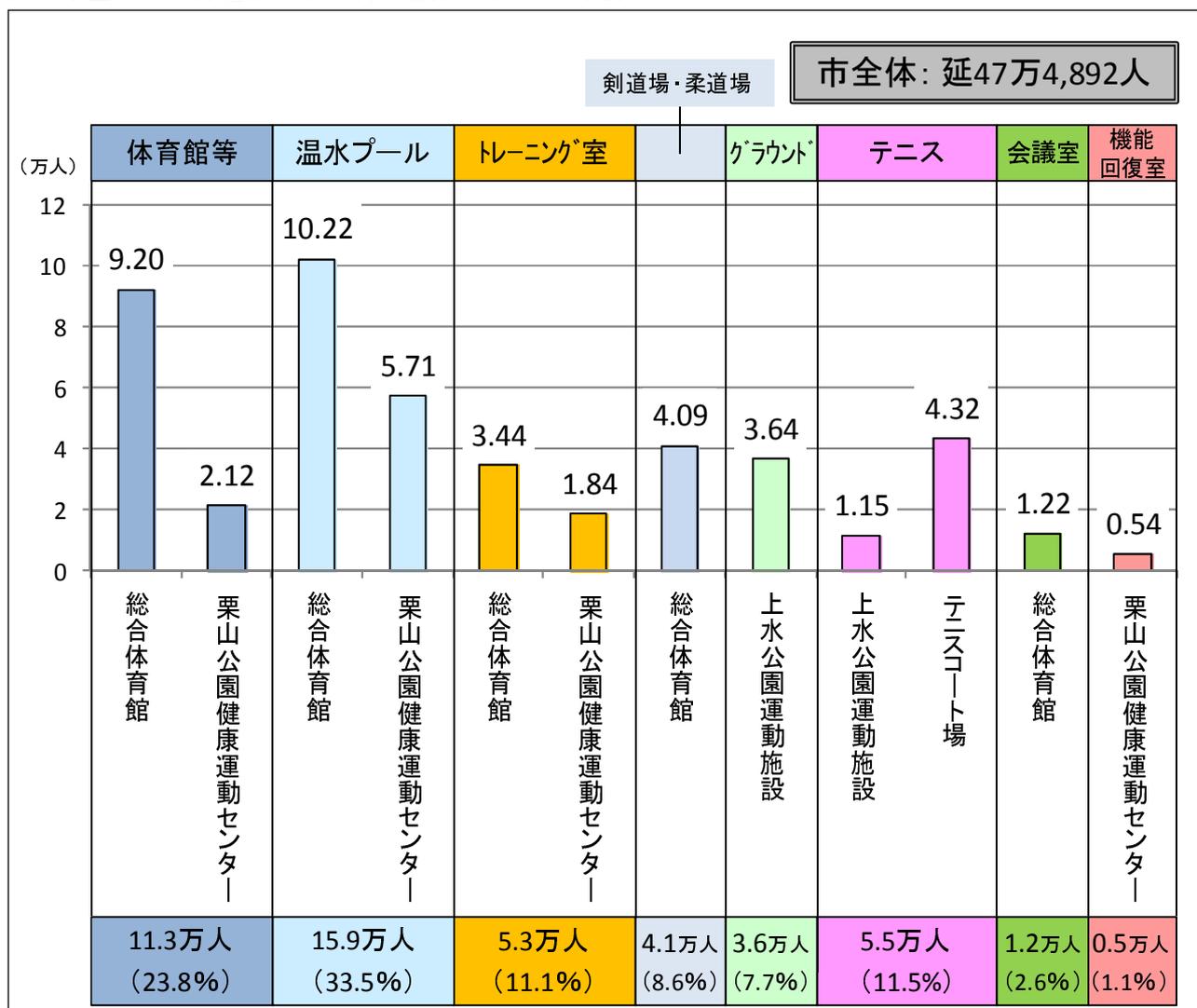
① 全体の利用状況

平成 22 年度の市全体の利用者数は、合計 47 万 4,892 人となっています。

種目別にみると、体育館及びフィットネスルームなどの体育館等、温水プール、トレーニング室、剣道場・柔道場、グラウンド及びテニスといったスポーツでの利用の他に会議室や機能回復室での利用があります。

内訳をみると、温水プールの利用が約 15.9 万人と最も多く、全体の約 34% を占めています。次いで体育館等が約 11.3 万人（約 24%）、テニスが約 5.5 万人（約 12%）、トレーニング室が約 5.3 万人（約 11%）等となっています。

図 市全体の体育施設種目別利用者数（平成 22 年度）



② 総合体育館

■ 利用状況の推移

総合体育館の平成 22 年度の利用者数は約 28.2 万人です。運営日 1 日あたりでは約 807 人となっています。利用者別の内訳をみると、過半が一般利用（個人）の利用となっています。

種目別の内訳をみると、温水プールの利用が約 10.2 万人と全体の約 36%を占めています。大体育館や小体育室、幼児体育室等の体育館等利用は約 9.2 万人（約 33%）となっています。

種目別利用者数の推移をみると、平成 17 年度の約 23.5 万人から平成 22 年度の約 28.2 万人にかけて約 4.6 万人、約 20%増加しています。

種目別の内訳をみると、各種目とも増加傾向にあります、特に温水プールや大体育館が増加していることが分かります。

図 年間利用者数（平成 22 年度）

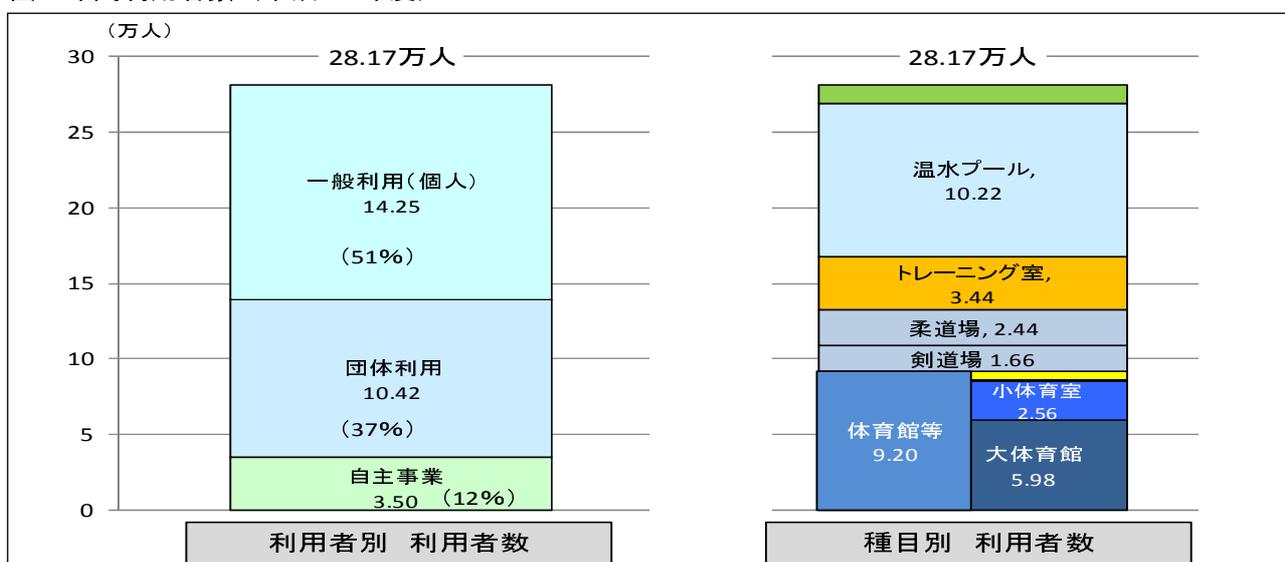
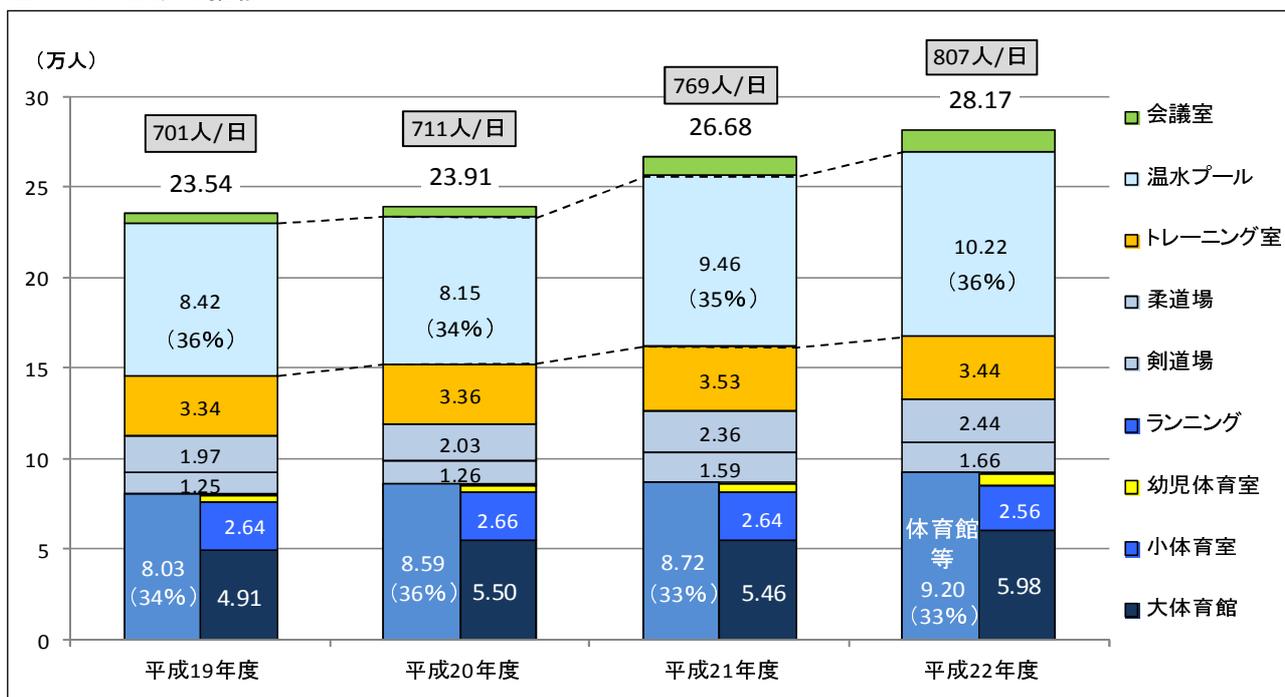


図 利用者数の推移



③ 栗山公園健康運動センター

■ 利用状況の推移

栗山公園健康運動センターの平成 22 年度の利用者数は約 10.2 万人です。運営日 1 日あたりでは約 292 人となっています。利用者別の内訳をみると過半が一般利用（個人）となっています。次いで団体利用が約 32%となっています。

種目別の内訳をみると、温水プールの利用が約 5.7 万人と全体の約 56%を占めており、温水プールの利用者が過半を占めていることが分かります。次いで、フィットネスルームが約 2.1 万人、トレーニングルームの利用が約 1.8 万人となっています。

種目別利用者数の推移をみると、平成 17 年度の約 8.2 万人から平成 22 年度の約 10.2 万人にかけて約 2.0 万人、約 24%増加しています。

図 年間利用者数（平成 22 年度）

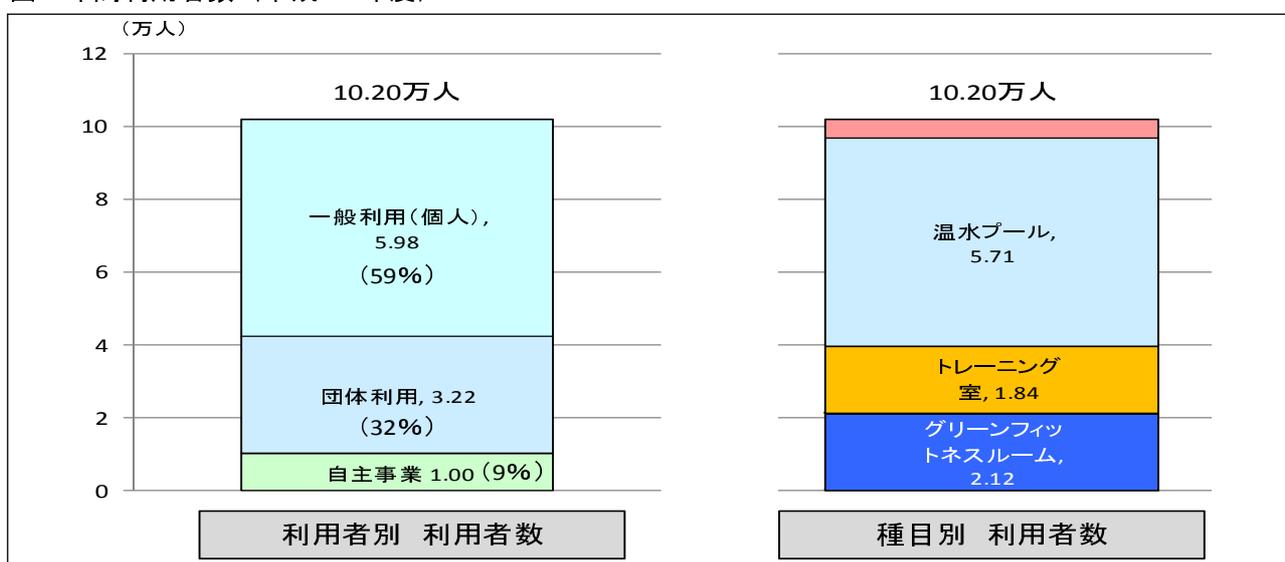
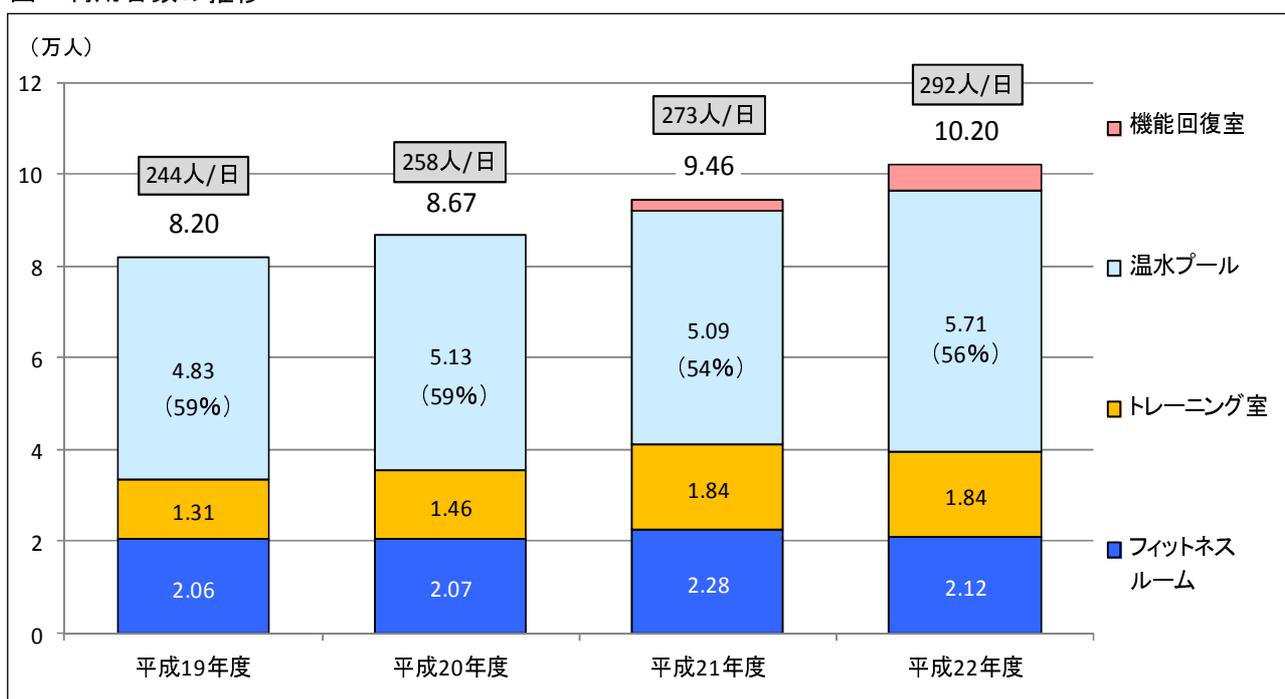


図 利用者数の推移



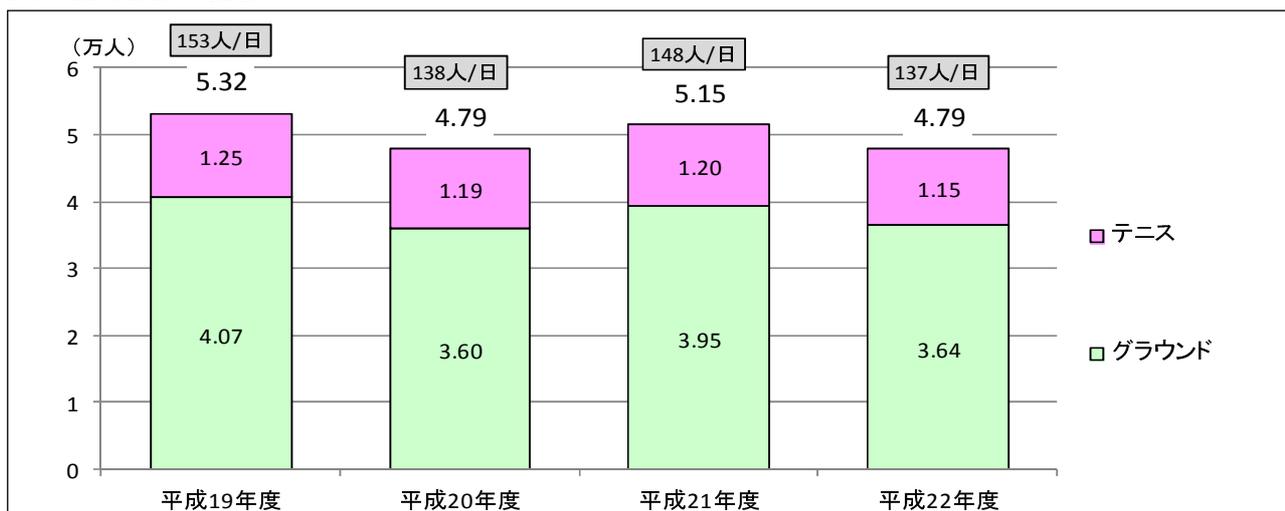
④ 上水公園運動施設

■ 利用状況の推移

上水公園運動施設の平成22年度の利用者数は約4.8万人です。運営日1日あたりでは約137人となっています。種目別の内訳をみると、グラウンドが約3.6万人、テニスが約1.2万人となっています。

種目別利用者数の推移をみると、平成17年度の約5.3万人から平成22年度の約4.8万人にかけて約0.5万人、約10%減少しています。

図 利用者数の推移



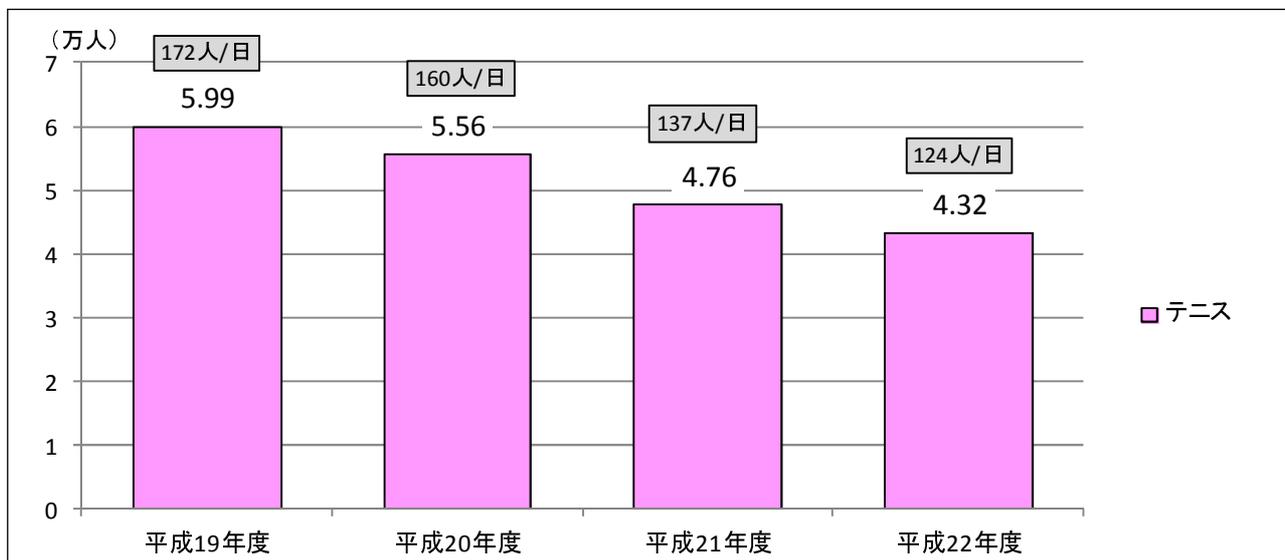
⑤ テニスコート場

■ 利用状況の推移

テニスコート場の平成22年度の利用者数は約4.3万人です。運営日1日あたりでは約124人となっています。

利用者数の推移をみると、平成17年度の約6.0万人から平成22年度の約4.3万人にかけて約1.7万人、約28%減少しています。

図 利用者数の推移



(3) 運営状況

スポーツ施設のうち、総合体育館と栗山公園健康運動センターは維持管理・運営を指定管理者制度を導入して行っています。上水公園運動施設とテニスコート場は施設の維持管理をシルバー人材センターに委託して行っています。

施設別の運営人員をみると、総合体育館には指定管理者社員が7人、非常勤社員が57人の計64人が従事しています。

栗山公園健康運動センターには指定管理者社員5人、非常勤社員が50人の計55人が従事しています。

上水公園運動施設はシルバー人材センター職員が2.3人、テニスコート場は1.8人従事しています。

図 運営人員

(人)

| | | 総合体育館 | 栗山公園 健康運動センター | 上水公園 運動施設 | テニスコート場 |
|------|--------------|-------|------------------|--------------|---------|
| 直営 | 一般職員 | — | — | — | — |
| | 嘱託職員 | — | — | — | — |
| | 再任用職員 | — | — | — | — |
| 委託 | シルバー人材センター委託 | — | — | 2.3 | 1.8 |
| 指定管理 | 正社員 | 7.0 | 5.0 | — | — |
| | 非常勤社員※ | 57.0 | 50.0 | — | — |
| 計 | | 64.0 | 55.0 | 2.3 | 1.8 |

(4) コスト状況

スポーツ施設4施設の年間トータルコストは、3億3,241万円です。内訳は、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託料等）3,634万円（約11%）、事業運営にかかるコスト（人件費・委託料・その他物件費等）1,978万円（約6%）、指定管理委託料1億7,513万円（約53%）、減価償却相当額1億115万円（約30%）となっています。

表 施設別公共施設トータルコスト計算書（平成22年度）

I. 現金収支を伴うもの

（千円）

| 【コストの部】 | | 総合体育館 | 栗山公園健康運動センター | 上水公園運動施設 | テニスコート場 | 合計 |
|--------------|-------------|--------|--------------|----------|---------|--------|
| 施設にかかるコスト | 一般職員人件費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 再任用職員人件費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 修繕料 | 7,125 | 4,208 | 1,600 | 203 | 13,136 |
| | 改修費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 光熱水費 | 0 | 0 | 1,126 | 434 | 1,560 |
| | 委託料 | 609 | 0 | 4,679 | 4,310 | 9,598 |
| | 使用料及び賃借料 | 0 | 0 | 0 | 11,488 | 11,488 |
| | 物件費(臨時職員費) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他物件費 | 0 | 132 | 236 | 192 | 560 |
| 施設にかかるコスト | 7,734 | 4,340 | 7,641 | 16,627 | 36,342 | |
| 事業運営にかかるコスト | 一般職員人件費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 再任用職員人件費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 修繕料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 委託料 | 0 | 0 | 4,660 | 3,948 | 8,608 |
| | 使用料及び賃借料 | 9,841 | 773 | 88 | 0 | 10,702 |
| | 負担金補助及び交付金 | 10 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| | 物件費(臨時職員費) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他物件費 | 0 | 0 | 272 | 192 | 464 |
| | 事業運営にかかるコスト | 9,851 | 773 | 5,020 | 4,140 | 19,784 |
| 指定管理委託料 | 101,735 | 73,397 | 0 | 0 | 175,132 | |
| 現金収支を伴うコスト 計 | 119,320 | 78,510 | 12,661 | 20,767 | 231,258 | |

【収入の部】

| | | | | | | |
|-------|-------|---|---|--------|--------|--------|
| 収入 | 使用料収入 | 0 | 0 | 0 | 11,094 | 11,094 |
| | 諸収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 収入の合計 | 0 | 0 | 0 | 11,094 | 11,094 | |

II. 現金収支を伴わないもの

| | | | | | | |
|-----|---------|--------|--------|-------|-------|---------|
| コスト | 減価償却相当額 | 56,892 | 40,493 | 1,845 | 1,919 | 101,149 |
| | 不納欠損額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 収入 | 収入未済額等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

III. 総括

| | | | | | |
|------------------|---------|---------|--------|--------|---------|
| コストの部合計(トータルコスト) | 176,212 | 119,003 | 14,506 | 22,686 | 332,407 |
| 収支差額(ネットコスト) | 176,212 | 119,003 | 14,506 | 11,592 | 321,313 |

施設別のトータルコストをみると、指定管理者が維持管理・運営を行っている施設は、総合体育館が1億7,621万円、栗山公園健康運動センターが1億1,900万円で、指定管理委託料がトータルコストの過半を占めています。他に施設の修繕料やトレーニング機器やランニングマシンなどのスポーツ機器の賃借料がかかっています。

施設の運営を業務委託している施設は、上水公園運動施設が1,451万円、テニスコート場が2,269万円です。事業運営にかかるコストとして、管理運営委託料等がかかっています。施設にかかるコストとして修繕料、光熱水費、清掃や警備等の施設維持管理委託料がかかっています。テニスコート場は土地の賃借料が1,149万円かかっており、トータルコストの約51%を占めています。

図 全施設トータルコスト（平成22年度）

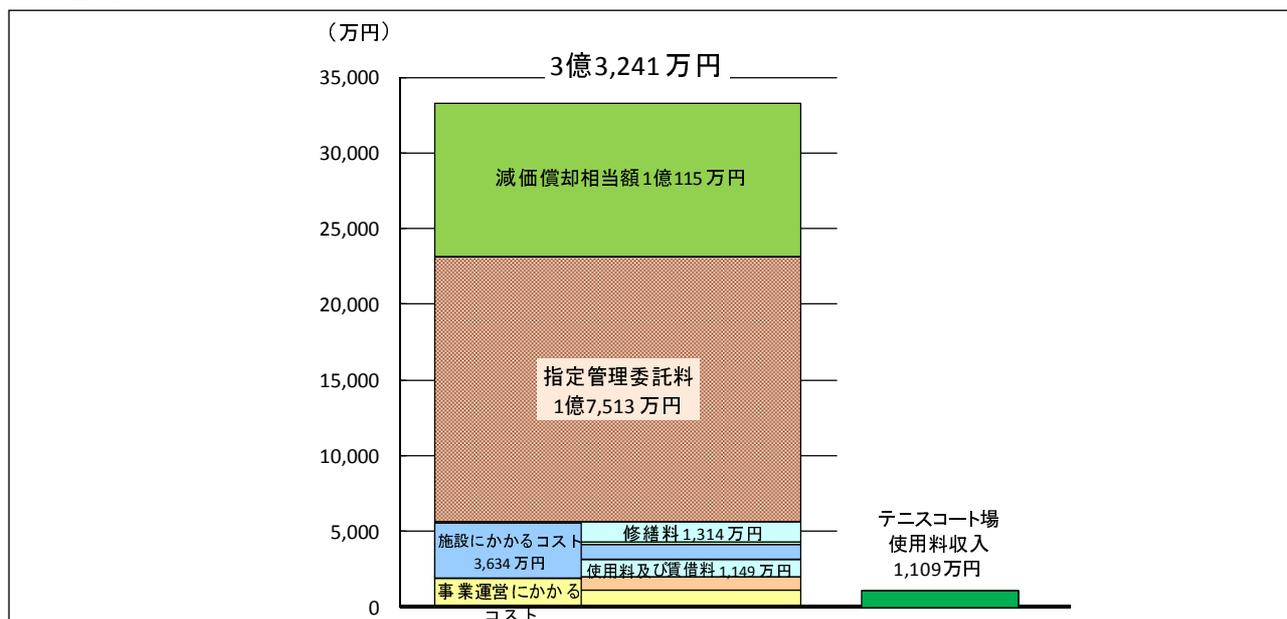
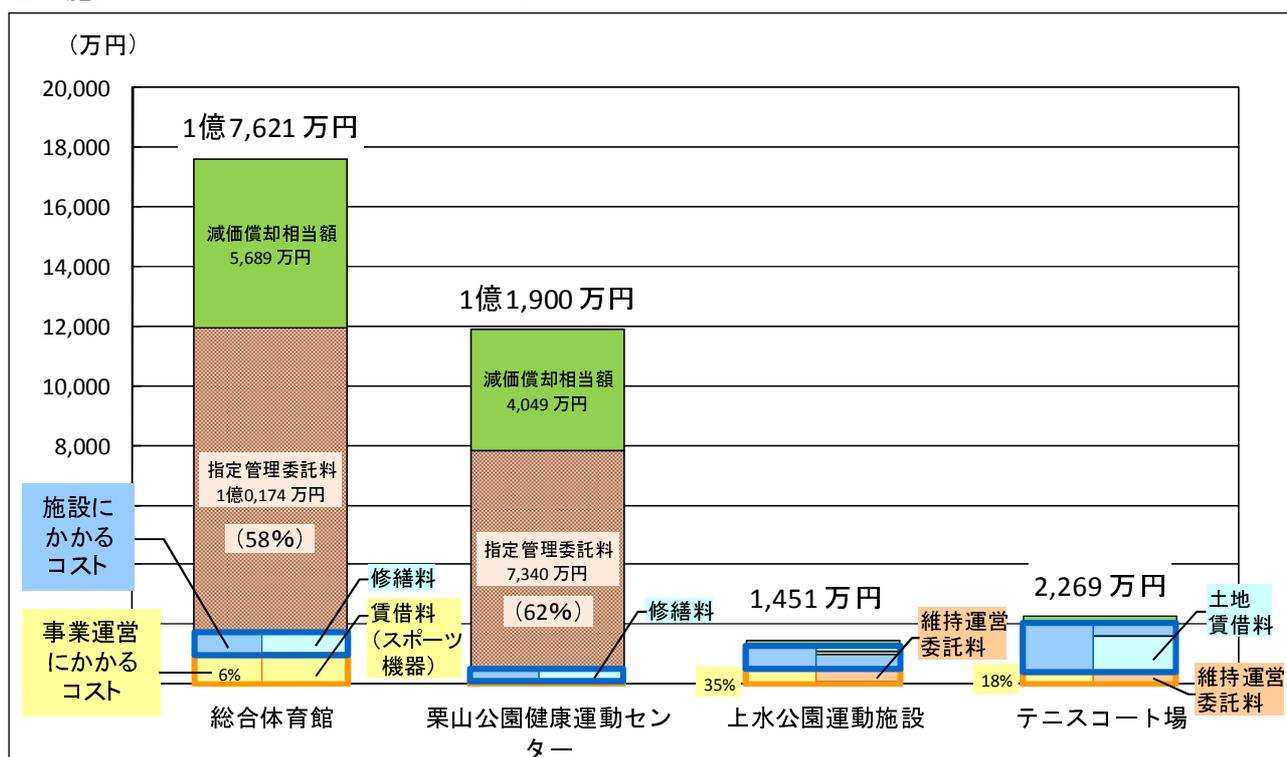


図 施設別トータルコスト（平成22年度）

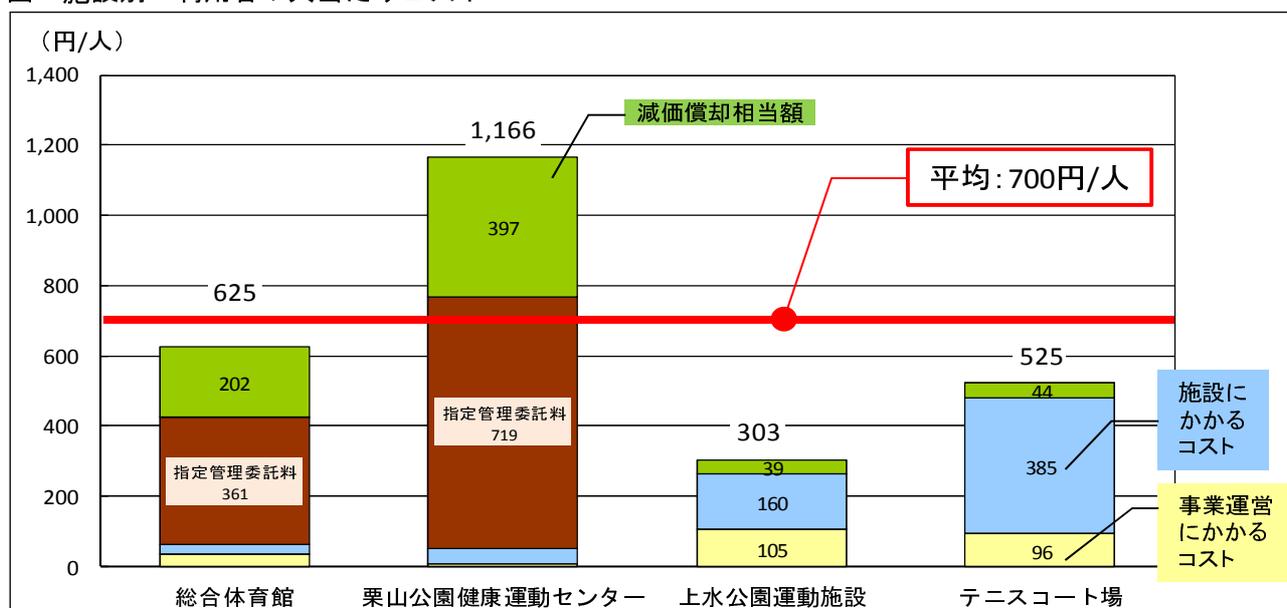


3. 評価・分析

(1) 利用者数とトータルコストの関係（利用者1人当たりコスト）

年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、平均は700円/人です。施設別では、総合体育館が625円/人、栗山公園健康運動センターが1,166円/人、上水公園運動施設が303円/人、テニスコート場が525円/人となっています。

図 施設別 利用者1人当たりコスト



■ 今後の課題

市民ニーズからみた課題

- 総合体育館は築20年以上を経過しており、老朽化対策として平成23年度から5か年計画で大規模改修を実施しています。その際、建物のライフサイクルコストの削減の観点から、自然エネルギー等の活用及び省エネルギー機器の導入といった環境対応を検討することが必要です。